

本時のねらい

いちごが小さいお皿に4こ、大きいお皿に8こあるという事象に対し、ブロック操作で計算のしかたを考える算数的活動を通して、加数の方が大きい加法計算を被加数分解で考えることができ、正しく答えを求めることができる。

・評価規準

10のまとまりをつくるため、4（被加数）を2と2に分解する考え方が理解できる。（考え方）

過程	おもな学習活動	学習態	指導 援助
問題 見通し 課題 個人 追求	<p>1. 問題を提示する。 もんだい いちごが小さいさらに4こ、大きいさらに8こあります。あわせるとなんこになるでしょう。</p> <p>2. 立式ができる。 ・あわせてなので、たしざんになる。 ・4+8になる。 ・たされるかすが小さい。</p> <p>3. 課題を持つ。 めあて たされるかすがちいさいときのけいさんのしかたをブロックをつかっておはなしをしよう。</p> <p>4. 計算のしかたを考える。 コースごとに分かれる。</p> <p>グリーンコース      オレンジコース ・自分で考える。      ・黒板でみんな （個別指導）      考える。 ・ペアで話し合う。      ・自分でやってみる。</p>	<p>全体</p> <p>コース 別 個人 ペア 任意</p>	<p>・文だけではとらえにくい子がいるので、実物でわかりやすく説明する。 T1 問題提示 T2 具体物を提示する。</p> <p>T1 発表を引き出す発問をする。 T2 学習姿勢・つまずいている子の個別指導をする。 ・前時との違いを見つけさせる。</p> <p>・コースに分かれる時は、自分で選択する。</p> <p>T1（オレンジコース） ・どちらを10のまとまりにするとやりやすいか考える。 T2（グリーンコース） ・つまずいている子を支援する。 ・お互いに交流しあう。</p>
交流	<p>5. 全体交流をする。 ・たされる数の4を10のまとまりにするために、8から6をたして、計算しました。 ・大きい方の8を10のまとまりにするために、4から2をたして、計算しました。</p>	<p>全体</p>	<p>・二通りの考え方を交流し、いろいろなやり方がることがわかる。 ・ブロック操作しながら説明する。 ・オレンジコースとグリーンコースから発表する。</p>
まとめ	<p>6. まとめをする。 まとめ たすかずに10のまとまりにしてもけいさんできるよ。</p>		<p>・どちらのやり方も10のまとまりを作っていることを押さえる。 ・小さい方を分解する方法もあることがわかる。</p>
力 試 し	<p>7. 評価問題をする。 グリーンコース      オレンジコース ・どんどん進ん      ・1問ずつ確かめながら解いていく。</p>	<p>コース 別 個人</p>	<p>・自分でコースを選択し、オレンジコースで自信がいたら、グリーンコースに行く。</p>